

「NPO 法人臨床トンネル工学研究所 2017年度第一回近畿支部交流会」のご案内

平素は、臨床トンネル工学研究所近畿支部の活動について、ご協力・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、近畿支部の活動として、近年地震に纏わる話題が多くささやかれています。特に東南海沖地震は近未来的に確実に発災するとの予測も仄聞されます。

そこで、トンネルと地震に関する話題をテーマに会員相互の意見交流会をご案内させていただきます。

阪神・淡路大震災より、既に二十数年が経ちましたが、今でも往時の状況が鮮明に残っています。土木構造物等の被災状況は、忘れることはできません。このたび、震災資料保管庫(阪神高速道路株)を見学して、生きた教材として学ぶことにより、今一度「地震とトンネルに関する話題」をテーマに皆様と意見交換を図っていきたいと思っています

ご多忙かと存じますが、是非ともご参加をお願い申し上げます

なお、準備の都合もありますので10月27日(金)までにメール、または電話等でご連絡をお願いします

記

- 1) 日 時：平成29年11月14日(火) 15:00~17:00
- 2) 場所：阪神高速震災資料保管庫(神戸市東灘区深江浜町11-1)
- 3) 行程：阪神電車深江駅~震災資料保管庫にて震災展示物の見学~懇親会場へ移動~現地解散
- 4) 集合場所 15:30 震災資料保管庫集合(阪神電車深江駅から徒歩約20分)
※当駅にはタクシー、バス等の移動手段が皆無なので極力徒歩でお願いします

5) 定員約25名

6) 交流会の内容プログラム

15:30~16:20 震災資料保管庫震災展示物の見学

休憩(10分)

16:30~17:00 トンネルと地震に関しての意見交換
「目で見るトンネル被災事例P・P」

17:00~17:30 移動

17:30~19:00 懇親会(酒心館を予定)※-2

7) 申し込み方法

①氏名、②電話番号、③メールアドレス、④会員番号を
明記の上、下記のメールアドレスにお申し込みください。

8) 問い合わせ先

近畿支部 松島 太司((株)ケー・エフ・シー)

TEL 06-6363-2501(携)080-6146-089)

matsushima.futoshi@kfc-net.co.jp

9) 参加料：交流会及び懇親会費として5500円/人徴収します。

なお、申し込み後のキャンセルは運営上変更で出来ませんのでご了承ください。参加できないときには、代行をお願いします。懇親会の詳細は、後日参加者にお知らせします

※-2 酒心館(神戸市東灘区御影塚町1-8-17、078-841-1121、阪神電車石屋川駅下車5分)

<http://www.shushinkan.co.jp/>



阪神電車深江駅から阪神高速震災資料保管庫までの案内

約 1.8 km で徒歩約 20 分程度です

地震で失ったもの、伝えるべきもの、そして活かさなければならないもの

1995年1月17日5時46分に発生した兵庫県南部地震は多くの貴重なものを奪いました。経験したことのないほどの都市直下型の地震によって阪神高速道路も甚大な被害を被り、想像を絶する状況を目の当たりにすることになったのです。悲しみと混乱の中、人命救助、緊急対応、早期復旧が私たちの使命となりました。

同時にこの被災を後世に伝える必要性を感じ、その一環として被災した構造物を体系的に抽出し保管する決断をしました。ここに保管されている構造物は、地震の凄まじいエネルギーを彷彿させるものであり、これまで仮想でしかなかった実物の壊れ方を証明するものです。

自然の猛威に太刀打ちすることはできませんでしたがその後の人間の英知と力により街は甦ることになります。この施設では、地震の証しを残すだけではなく、地震発生から全線復旧までの623日間の緊迫した時間と関係者の対応も伝えようとした。さらには、この震災を教訓にした、新たな技術、災害支援や防災教育の取り組みも紹介しています。

地震は避けることができません。しかし、この施設によって情報の伝達と共有が行われ、そしてそこから生まれる人間の英知によって、今後災害が少しでも軽減されれば私たちは切に願っています。また、私たち自身が、この施設を、安全・安心の原点を見つめ続けるための礎にしたいと強く考えています。活かさなければならないことは限りないと思っています。



震災・復旧と施設のあゆみ

- 1995.1.17 兵庫県南部地震発生
③号神戸線4分所落橋、⑤号湾岸線1分所落橋
- 1995.2.7 ③号神戸線応急対策推進道設置
- 1995.4.1 神戸線復旧建設部設置
順次撤去構造物を4号湾岸線高架下(具塚市地蔵浜)に移設
- 1995.9.1 ⑤号湾岸線開通
- 1996.2.19 神戸線京橋-塚原間開通
- 1996.7.17 神戸線網走-京橋間開通
- 1996.8.10 神戸線月見山-塚原間開通
- 1996.8.31 神戸線深江-武庫川間開通
- 1996.9.30 神戸線深江-武庫川間開通
- 1999.10 神戸市東灘区深江浜に震災資料保管庫完成
- 2009.12.18 震災資料保管庫リニューアル

施設概要

- 【面積】
1212m²
- 【展示構造物】
鋼上部構造物3カ所分、RC橋脚6カ所分、鋼製橋脚6カ所分、支保一式
- 【パネル数】
エントランス3枚、展示コーナー14枚、プレゼンテーションルーム3枚
- 【模型】
7カ所

見学無料 詳しい内容、見学のお申込みはインターネットで
<http://www.tech-center.or.jp/japanese/hokanko/>

見学概要 地震の概要と復旧までの歩みを紹介するビデオ上映の後、実際の被災構造物を見ながら、係員が被災状況などについてご説明いたします。(所要時間:約1時間)

開催日 毎月第1・第3水曜日、日曜日

見学時間 1日3回(午前10:30、午後1:30、午後3:30)

アクセス 阪神高速5号湾岸線深江浜ランプから約5分
 ※敷地内に無料駐車場スペースあり
 阪神電車深江駅からタクシー約10分
 または徒歩約30分

震災資料保管庫

Hanshin Expressway Earthquake Museum

— 1995.1.17 そして —



阪神高速 一般財団法人阪神高速道路技術センター



(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN